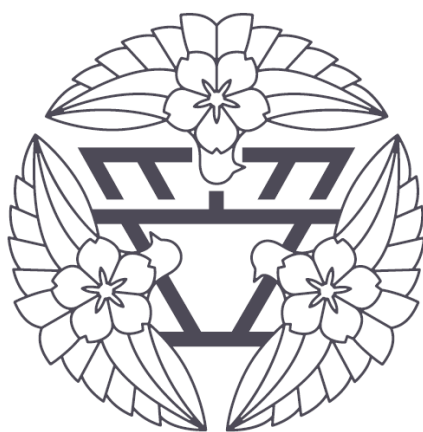


笠原小中学校 開校要覧



令和7年（2025年）10月18日（土）

☆この冊子は、説明会当日に持参していただきますよう、よろしくお願いします。

<目 次>

はじめに

- 1 多治見市の進める小中一貫教育
- 2 義務教育学校の魅力
- 3 笠原小中学校の特色（教育活動・施設整備）
- 4 学校生活
- 5 学校運営協議会

【はじめに】

義務教育学校「笠原小中学校」が創設される笠原校区は多治見市南方に位置し、潮見の森をはじめとした豊かな自然環境に囲まれ、旧来からタイル産業を核として発展してきました。

「笠原の子は笠原のみんなで育てよう」のスローガンのもと、地域一体となったまちづくりを多治見市と合併する前から一貫して実践しています。笠原小・中学校は、これら多くの魅力ある町で、地域の子どもたちの学び舎として伝統と歴史を守り今日に至ります。

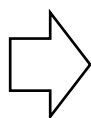
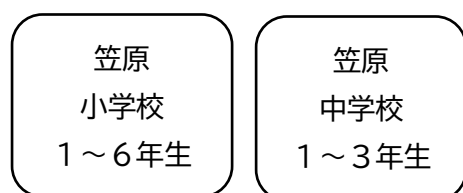
これらの教育資源（地域の人財や資源）を次世代につなげ、子どもたちが地域を誇りに思うとともに、1年生から9年生までの子どもたちが切磋琢磨しながら将来に向かって学び合い育ち合う、地域とともにある学校の具現化に向けて歩んでいきます。

1 多治見市の進める小中一貫教育

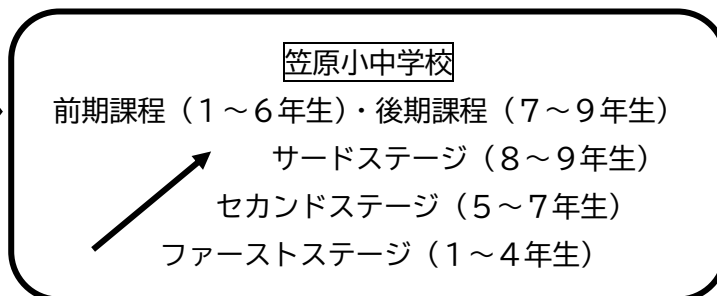
多治見市では、令和5年度からの第3次教育基本計画において、「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」をめざす子ども像としています。この子ども像の実現のため、児童生徒一人ひとりが自らの力で様々な課題に挑戦し、自立して生き抜くために必要な「体力・学力・社会性」の伸長を図るとともに、共生の基盤となる「自他の多様性を尊重し、仲間と協働する力」を育て、自分への小さくとも確かな自信である自己肯定感を全教育活動を通じて育むことで、変化の激しい時代を生き抜いていくたくましい多治見の子の実現をめざします。

「多治見市小中学校一貫教育基本方針」は、教育基本計画でも大切にしている幼保小中一貫教育を基盤としながら、義務教育期間に焦点を絞ったものです。そして、小中学校で一貫性のある学習指導や生活指導に取り組むことで教育基本計画のめざす子ども像の実現をめざします。

【令和7年度まで】



【令和8年度から】



【笠原の財産「一貫教育」をさらに生かします】

※詳細の説明は「2 義務教育学校の魅力」に掲載

- ・小学校時期での教科担任制の導入により、豊富な教科専門教員の在籍による継続的で質の高い学習が可能になります。
- ・小中学校の区切りが緩やかになることで、柔軟なカリキュラム編成が可能になります。
- ・いわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる小学校から中学校へ進学する際に生じる不適応リスクの解消効果が期待できます。
- ・小中学校教員間の情報共有が容易で綿密になるため、教員によるサポート体制が強化されるだけでなく、支援が必要な児童生徒へのケア体制も充実できます。
- ・小中一貫したクラブ活動や部活動、委員会、児童・生徒会の実施が可能になります。

2 義務教育学校の魅力

(1) 学年段階の区切り

前期課程（1～6年）		後期課程（7～9年）	
ファーストステージ	セカンドステージ	サードステージ	
学びの基礎をつくる時期	学びを広げる時期	自分の学びを求める時期	
繰り返し学習や具体的な操作活動を通して、義務教育で学ぶ基礎・基本を身に付けられるようにします。	学んだ基礎をもとに論理的な思考力や物事を適切に判断する力を身に付けられるようにします。	学習した内容を自分の生き方と関連付けて考え、社会でよりよく生きることができる自己肯定感を育みます。	
学級担任制	一部教科担任制	教科担任制	
1年・2年・3年・4年	5年・6年・7年	8年・9年	

(2) 教育課程の工夫改善

①教科担任制

学習指導をより効果的に行える指導体制の一つとして、教科担任制が挙げられます。前期課程から特定の教科（外国語科、理科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科等）において教科担任制とすることで、専門性に根ざした質の高い授業を行い児童生徒の興味・関心を高め、自ら学ぶ力を育てます。

また早い時期から担任以外の多くの教員が関わることで、児童生徒を多面的に捉えることができ、一人ひとりのもっている可能性や能力を最大限に伸ばす教育を行います。

②異学年交流

次代を担う子どもたちが社会で活躍していくためには、周囲の人々と望ましい人間関係を形成し、社会と関わる力の育成、すなわち社会性を育成することが重要です。子どもたちの社会性を育むためには「異学年交流」が重要となります。

施設一体型の校舎で生活することにより、1年生から9年生までが日常的に交流する学校行事や児童生徒会活動、給食、クラブ・部活動等を行うことができます。上学年の生徒が発表や演技を見せることにより、下学年の児童は憧れの気持ちをもつようになります。また、上学年の生徒が下学年の児童をサポートすることにより、思いやりの心や自己肯定感が高まります。児童生徒会活動では、縦割り班活動等を通して全児童生徒が参加し、学校の生活をよりよいものにしていく自治的な活動を進めることで、ファーストステージ～サードステージの各段階でのリーダー性を伸長することができます。

③教職員間の連携・協働

中学校における生徒指導上・学習指導上の諸問題は、小学校段階から潜在的な問題として関わっていることが多く、9年間の継続した丁寧な取組が、それら問題の未然防止や解消につながります。施設が一体であることで、「生活のきまり」など学校生活における統一した約束を決め、9年間を貫く児童生徒指導が実施しやすくなります。共通のきまりがあることで、すべての学年の児童生徒が安心感をもって、同じ場に集い、幅広

い人間関係を育むことができます。

これにより、いわゆる「中1ギャップ」を軽減するとともに、教職員組織が1つであることで、児童生徒に関する情報を常日頃から共有し、よりきめ細かな指導を行います。いわゆる「インクルーシブ教育」における特別支援教育面でも、9年間を通して一貫した教育を行います。これにより、児童生徒の自立と社会参加に向けた取組への充実した支援が可能になります。

3 笠原小中学校の特色（教育活動・施設整備）

（1）教育活動

①学校教育目標

『夢をもち 仲間と未来を切り拓き

たくましく生き抜く笠原の子』

『自立』：夢や目標に向かって、主体的に粘り強く挑戦する

『共生』：自他を尊重し、好ましい人間関係を築く

『創造』：ふるさと笠原に主体的に働きかけ より良い未来を創造する

②笠原の未来を創り出す活動

○ふるさと教育（総合的な学習の時間など）

「ふるさとに愛着と誇りをもち、主体的に地域に働きかけることができる子どもの育成」

「笠原の産業・文化・行事を見る・知る・体験する・広める」

サードステージ：高める・発信する

セカンドステージ：体験する・広める

ファーストステージ：見る・知る

- ・社会見学 笠原町内
- ・地場産業との関連学習（焼き物を通じた交流・瀬戸焼）
- ・「いこまい祭り」など

○英語教育

「自分の考えを自分の言葉で伝え、世界の人々をつながるための英語力を身に付けた子どもの育成」

- ・「修学旅行」TGG（東京グローバルゲートウェイ）
- ・外国人留学生との交流

○人権教育

「多様性を認め合い、自分や仲間、まわりの人の人権を尊重し、共生する子どもの育成」

- ・JICA「人権教育講演会」
- ・異学年交流

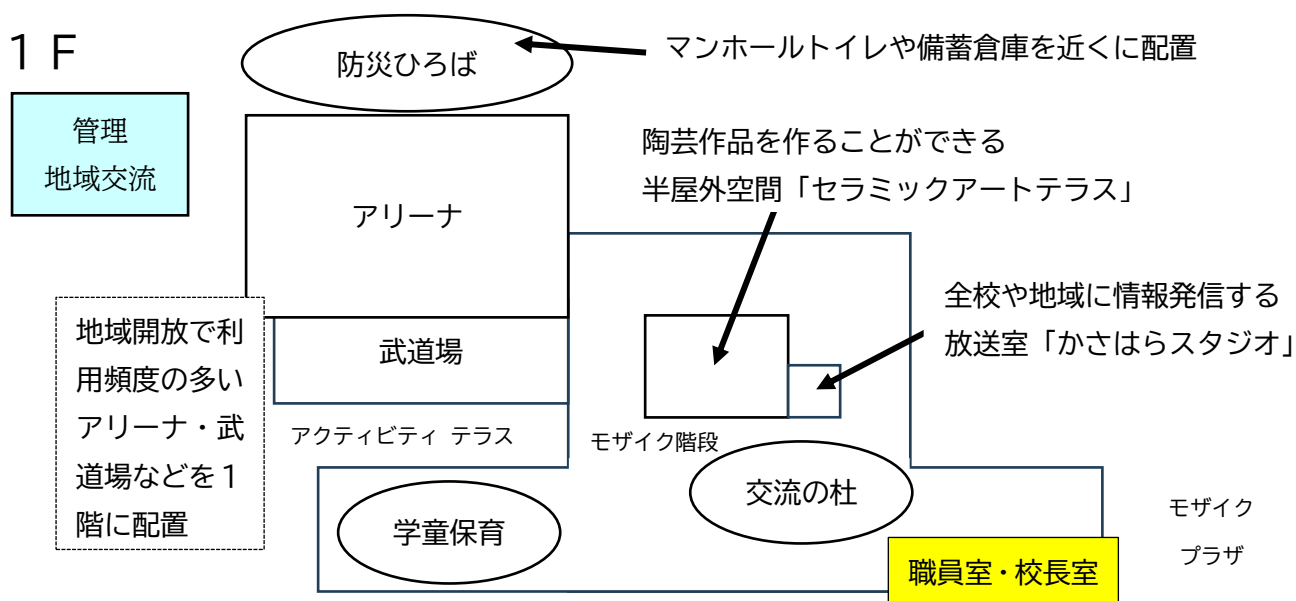
(2) 施設設備

笠原のまちづくりによる 地域と共に成長する新しい学びの場

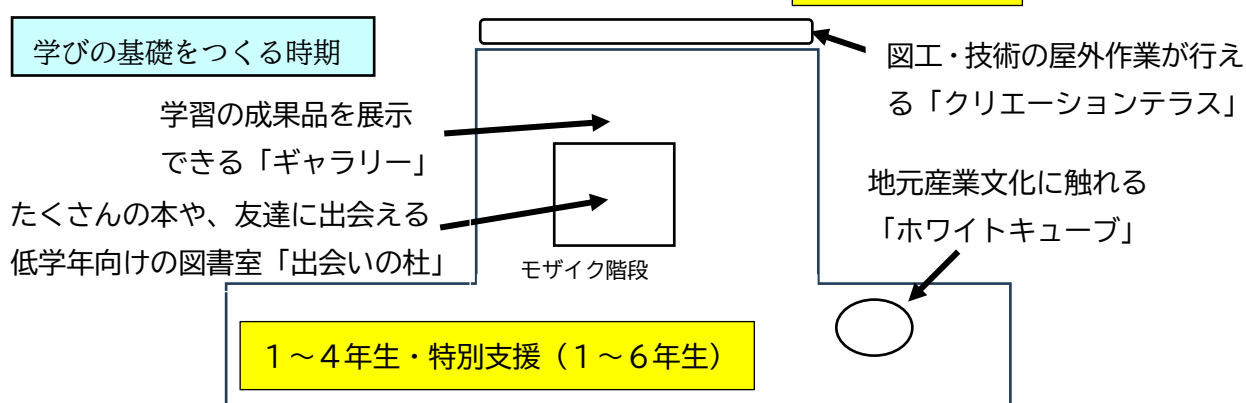
- ・笠原小中学校は、子どもたちが9年間一緒に学び合い育ち合う場所であり、地域の人々と一緒に学ぶ大きな家のような場所
- ・地域と共にある学校づくりは笠原地域の大切な「まちづくり」であると考え、子どもたちと地域と一緒に成長できる学びの場

シンプルでコンパクトな配置計画・コンパクトで使いやすいみんなの学校・わかりやすい動線計画

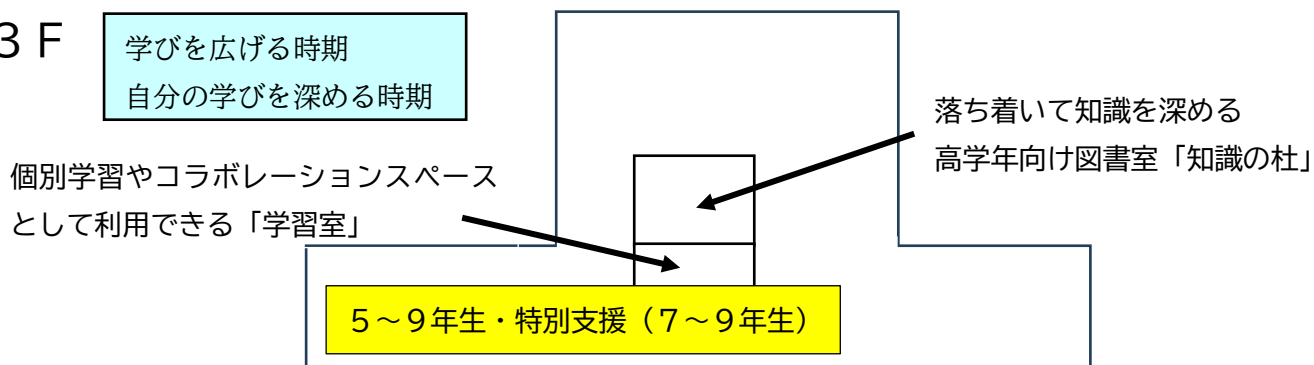
1 F



2 F



3 F



4 学校生活

(1) 日課 ※太枠は、前期課程・後期課程共通の時刻 ※掃除は月・水・金に実施

前期課程（１～６年生）				後期課程（７～９年生）			
	開始		終了		開始		終了
朝の会	8:20	～	8:30	朝の会	8:20		8:30
1校時	8:40	～	9:25	1校時	8:40	～	9:30
2校時	9:35	～	10:20	2校時	9:40	～	10:30
中休み	10:20	～	10:40				
3校時	10:40	～	11:25	3校時	10:40	～	11:30
4校時	11:35	～	12:20	4校時	11:40	～	12:30
給食	12:20	～	13:05	給食	12:30	～	13:05
昼休み	13:05	～	13:35	昼休み	13:05	～	13:35
掃除	13:35	～	13:50	掃除	13:35	～	13:50
5校時	13:55	～	14:40	5校時	13:55	～	14:45
帰りの会	14:45	～	14:55	帰りの会	14:50	～	15:00
6校時	15:00	～	15:45	6校時	15:05	～	15:55

(2) 学校行事 ※年度により、開催月のずれや実施の見直しあり

月	前期課程	後期課程
4	入学式 始業式 1年生を迎える会	命を守る訓練 授業参観
5	体力テスト	
		9年修学旅行 8年救命救急講習
6	5年宿泊研修	前期中間テスト 8年宿泊研修
7	夏休み前集会	
	二者懇談	中体連大会 三者懇談
8・9	夏休み明け集会	
		中体連大会 前期期末テスト
10	スポーツフェスティバル	
	前期終業式 後期始業式	
		9年三者懇談
11	6年宿泊研修 1～6年校外学習	後期中間テスト 合唱発表会 三者懇談
12	笠原一貫教育の日 4年・8年市合唱祭 冬休み前集会	
1	冬休み明け集会	
		9年後期期末テスト
2		7年・8年後期期末テスト
3	9年卒業式、6年前期課程修了式、修了式	

(3) 児童生徒会活動

【組織図】

児童生徒会執行部 役員 5 名

- ・会長 1 名
- ・副会長 2 名（6 年生から 1 名、9 年生から 1 名）
- ・書記 2 名（6 年生から 1 名、8 年生から 1 名）

児童生徒議会 17 名

- ・児童生徒会役員 5 名
- ・委員長、副委員長 12 名

委員会 委員長 6 名（9 年生） 副委員長 6 名（6 年生）

- ・学習図書 ・環境美化 ・生活
- ・放送文化 ・給食 ・保体・運動

1 ～ 9 年生をまとめ、全校児童生徒が安心・安全で楽しく生活できる学校を目指す組織

(4) 制服・体操服・ジャージ・上靴・体育館シューズ・通学カバン・通学用靴・靴下

○制服（後期課程）

- ・ブレザー
- ・スラックス・スカート
選択
- ・ポロシャツ
- …体育と兼用
- …色は白、グレー、紺

○体操服（前期課程）

- ・上着は白
- ・下は紺と色だけを指定

○ジャージ（後期課程）

- ・上着はポロシャツ
- …Tシャツの使用も可
- ・色は白、グレー、紺

○上靴・体育館シューズ

【前期課程】

- ・上靴と体育館シューズ
を兼用

【後期課程】

- ・上靴と体育館シューズ
（青色）を使い分け

※上靴は全学年ゴム

※体育館シューズはひも

○通学カバン ☆背負うもの

【前期課程】ランドセルを基本

【後期課程】原則、自由 推奨品（黒）あり

○通学用靴・ 靴下

- ・原則自由



↑ 【制服着用のイメージ画像（R 6 年度笠原中 3 年生徒作画）】



↑ 【後期課程ジャージ】

(5) クラブ活動・部活動

【前期課程 クラブ活動（予定）】 ・卓球 ・切り絵 ・ドッジボール ・カード&ボードゲーム ・百人一首 ・絵本&マンガ作り ・キックベース + 中学校部活動種目	【後期課程 部活動】 ・バドミントン ・美術 ・ソフトテニス ・軟式野球 ・バレーボール ・バスケットボール ・パソコン ・吹奏楽
---	--

5 学校運営協議会

学校と地域が協力して、笠原の宝である子どもたちを育てていきます。

(1) 組織図

【笠原小中学校】校長・教頭							
【委員】有識者 交流センター長 青少年まちづくり市民会議代表 区長会代表 主任児童委員代表 多悠連代表 P T A会長							
学習支援			地域活動支援			生活安全支援	
○授業支援 ○まち探検ガイド ○職場体験学習 ○校外学習引率 ○花の苗植え			○地域ボランティア ○盆踊り練習支援			○登下校見守り ○家庭支援 ○高齢者ふれあい体験 ○学校環境整備	
・ 商工会議所代表			・ 笠原子ども園長			・ 主任児童委員 ・ 交通安全協会代表	
「地域子供アドバイザー」によるサポート							

(2) 学校と地域の連携イメージ

